

よーブラザーげーんきー？

君のことを書いた歌を作ることにしました。

い、いいよね？

このNOTEも見てくれてるみたいで、ちょっぴりうれしかったりしてるわたしです。

毎月配信リリースしてるんやけどこれ、まずは手紙を書いてその中からぎゅっとしてぴゅっとしてずんって歌にするわけ。まあ見てくれてるから知ってるか。これその手紙ね。世の中の男兄弟って手紙書くことあるのかな。。。君とわたしの間でははじめてだな。なんだか妻、ファン、犬ときて今までで一番、構えてしまうなあ。さらけ出すのに抵抗があるなあ。。。という自分に驚いてる。。。果たしてどこまで言葉にするのかわからんけど、筆を進めようと思う。

感謝しています。とても。弟が、というより君がいてくれてよかった。兄弟って、なんだろうな。連絡も君から「今日の夜どう？」「今日無理やわ」とかって整体のことメールするくらい。（弟は整体師でちょいちょい施術してもらう）その時に近況を話し合うんだけど、きっとそんな話をするのも君にとっちゃぼくくらいじゃないの？まあぼくがそうなんだけど。なんだか似てる気がするのはぼくだけかな。性質が。。。でも君ちょっと変だよ（いい意味だよ）。

いやあ難しい。弟への手紙って難しい。

んんん。。。。

兄の威厳みたいなのがないってのが邪魔してるのかな。強い兄でないと、そう見せないって思ってるのかな。おそらくそうだな。。。って自分と向き合ってしまう。でもそうか、自分と向き合えてこそ他人との関係性がはっきりするんだろうな。いやあえらい軽く「弟への曲にします！」って口にしたもんだ。

俺にとっちゃ1番難しいテーマかもしれない。って君への手紙に書いてあるんだけど許してくれ。これも君への気持ちと向き合うための兄の心の葛藤なんだ。とうとう「わたし」が「ぼく」になって「俺」になっただ。本音に近づいてきたはずだ。戻ろう！手紙に！

結婚式のこと歌にしようとしてるのよ。

あん時君、みんなへの挨拶で突然泣きだしたよね。

あれ普通、花嫁になるやつやからね最後に。結婚式のフィナーレで。

「ああよかった。幸せなってね！」って会場中があったかくなるやつやからね。結婚式って花嫁のためなんだから。

君、花嫁より先に、しかも式の冒頭でしっかり泣いたでしょ。会場中びっくりしてたよ。マジで。

でもただ一箇所だけ、ひとテーブルだけあきらかに空気が違ったのよ。北川家のテーブルね。

そらまあ突然びっくりしたけど、「今まで支えてくれてありがとうございました」って言ったでしょ。それで今までのこと全部がフラッシュバックしたのよ。いじめられて学校行けなかったやん。それに関してはオカンが一番思うところがあったと思うんやけど、君が皆に感謝してるってことに驚いたのよね。

奥さん側のご親族の方々はそんなこと知らんやろうから、多分めっちゃびっくりしてたと思うよ。笑

ウチはもうあかんかったよ。しばらく誰も言葉を発せなかったから。その時見てないけど、オカンの顔にくっきりと涙の跡があった。おとんも泣いてたよ確か。北川のじいちゃんが亡くなった時以来だから2度目かなあ、おとんの涙。

もうあれが10年前。

ちょうどメール残ってるわ

「挙式は11月1日の日曜12時30分からでいいでしょうか」
やって。お前らしいなあ。お、「お前」出てきた。本音にまた近づいた。

ん、これ返信してないな俺。ごめん。

その時思ったことは、「結婚するんやったらちゃんと身の回り整えてからしろよ（誰がゆーとんねんごめんなさい）」で、これをただちょっと先に生まれただけの人（ぼく）に言われても、そしてちょっと先に生まれただけの人（ぼく）の結婚への価値観押し付けられるのも違うだろうなと思ひまして、しかし何かしらの意思是訴えたいという人としてなん

とも浅はかな行為、無視という行為をしてしまいました。
そして今だから言えるけど、結婚式当日もその気持ちはありました。
今思えばぼくの弟離れができていなかったんだと思います。
小さい頃から中学生くらいまでいろんなところに連れ回して、君が就職した会社を1日で辞めて上京、ウチに転がり込んできて二人暮らし。俺が俺がって、なってしまっていたんだらうな。
それがあの「今までありがとうございました」でゼーんぶ吹っ飛びました。よかった。ほんとよかった。
ぼくにはぼくの、君には君の、幸せがあるんだし、それをぼくに矯正される筋合いはないよね。尾崎豊もゆーてたよね「時々ぼくは 不意に君をぼくの形にはめてしまいそうになるけれど」って。これってこちらが未熟なだけよね。
あと、君の友達が来てくれてたことにも感動したのよね。
中学の途中くらいから格闘技はじめて、ボクシングで神戸市？兵庫県？のチャンピオンになったやん？（あれから喧嘩しなくなったの気づいた？絶対負けるやん。ワンパンやん。）
それで、大学でアメフトして友達に恵まれてって、話には聞いてたけど、実際に結婚式で君の幸せを喜んでくれる友人を目の当たりにして、感動してしまった。

今幸せそうで何よりだ。
たまにする会話が、たわいもなくて心地いい。
きっとこの先、また口だしたくなってしまいうだらうけど、俺が何言っても気にしないでくれ。大抵、ただちょっと先に生まれただけの人のお小言だ。役に立たない。そして、俺より長生きしてくれ。
楽しいな。ありがとうな。